

吹き付けアスベスト 388 施設が未対策 国交省



国土交通省では、アスベスト問題への当面の対応の一環として、国家機関の建築物を管理する各機関に対し、吹き付けアスベスト等の使用実態について調査を依頼し、以前(平成 17 年 9 月、12 月)に調査結果を公表しましたが、その後の措置状況の調査結果(平成 18 年 3 月 15 日時点)を新たに公表しました。

調査件数は 84,215 棟で、吹き付けアスベスト等が使用されているのが 698 棟、その内、封じ込めや囲い込み等の対策が実施されたのが 310 棟、未対策になっているのが 388 棟あることが報告されています。

未対策の件数は、平成 17 年 12 月時点での 611 棟から 388 棟へ減少しており、使用実態の把握及び除去等の飛散防止対策推進の効果が伺えます。

国土交通省では、引き続き各機関に対し、除去等の対策の実施、吹き付けアスベスト等の有無の把握等、必要な措置を適切に講ずるよう、保全指導・支援及び情報提供を行っていくとしています。

当社では、大気・建材・吹き付け材のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2006 年 3 月 31 日付 国土交通省ホームページ
2006 年 3 月 31 日付 EIC ネット

環境分析箇所 小林正幸